

静岡市立蒲原東小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

平成30年5月1日（火）



5月1日（火）静岡市立蒲原東小学校6年生のみなさんが来所し展示室の見学と古代体験に挑戦しました。展示室の見学では、各展示室の解説を聞いた後、一番気になる遺物について、じっくり観察し、細かなところをまでよく見てスケッチを描きました。

また、体験学習では、本物の土器片を分類したり、昔の道具で火を起こしたり、どれも初めての体験でした。きっと、この体験から古代の暮らしを想像することができたのではないのでしょうか。



◎火起こし体験

◎土器分類体験



縄文土器・弥生土器・須恵器の土器片の分類に挑戦しました。それぞれの土器の特徴を観察しながら、グループで相談して分別しました。破片とはいえ、本物の土器に実際に触れて、手触りや重さ、模様や色の違いを体感することができました。



説明のように簡単には火はつきませんでしたが、みんなで協力し、コツをつかむと次々に火がつき始めました。古代の人々も、苦勞して火を手に入っていたことを感じる事ができました。

